

外国語科学習指導案

徳島科学技術高等学校
指導者 堀 拓真

1. 履修単位 2単位
2. 実施日時 平成 29年 6月 21日(水) 第4時限
3. 学 級 2年 2組 総合科学類 環境科学コース (27名)
4. 使用教科書 Vivid English Communication II (第一学習者)
5. 単 元 名 Lesson3 Origami Is Not Just a Piece of Paper!
6. 単元設定の理由

○題材観

本単元は、折り紙の歴史を取り上げ、世界の折り紙の文化について説明している。日本の文化を学ぶと同時に、海外の文化にも目を向けさせることで、異文化理解の促進につなげたい。また、形式主語・形式目的語の it の学習を通じて、身の回りの出来事や自分の体験に感想を付け加えて話す能力を身に付けさせることができると考える。さらに、主語、動詞、目的語などの文を構成する要素に注意しながら英文を解釈するスキルの向上に適した題材である。

○指導観

本単元は、世界の折り紙の文化についての説明となっているため、英語の学習を通じて、日本の文化と海外の文化を比較する視点を持つよう指導を行う。また、形式主語・形式目的語が文法内容として取り上げられているため、英文の主語・動詞を理解して英文を読解する習慣を身につけさせたい。また、インプットのみでの活動にとどめず、学習した文法内容をアウトプットさせる言語活動を目指したい。

7. 単元の主な目標

(1) 本文内容に関心を持ち、発音練習やペアワークに積極的に参加している。

(2) 形式主語、形式目的語の it を用いて日常生活について簡単に書く。

「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標との関連→「書くこと」

(3) 新出単語、新出イディオムに注意して、本文の概要が理解できている。

「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標との関連→「読むこと」「聞くこと」

(4) 形式主語、形式目的語の it を用いた文の構造と意味を理解する。

8. 単元の評価規準

| ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | イ 外国語表現の能力 | ウ 外国語理解の能力 | エ 言語や文化についての知識・理解 |
|-----------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|
| 本文内容に関心を持ち、発音練習やペアワークに積極的に参加している。 | 形式主語、形式目的語の it を用いて日常生活について簡単に書く。 | 新出単語、新出イディオムに注意して、本文の概要が理解できている。 | 形式主語、形式目的語の it を用いた文の構造と意味を理解する。 |

9. 指導と評価の計画

| 時間 | ねらい | 本課の評価規準 | 評価方法 |
|----|--|-------------|----------------------------|
| 1 | Part1 を繰り返し読み内容理解を深める。 折り紙の歴史を読み取る。 | ア,ウ イ | 後日ペーパーテスト |
| ② | Part2 を繰り返し読み内容理解を深める。 世界の折り紙の文化について理解させる。 | ア,ウ イ | 後日ペーパーテスト |
| 3 | Part3 を繰り返し読み内容理解を深める。 折り紙の文化が遊びだけではなく、社会に役立っていることを理解させる。 | ア,ウ イ | 後日ペーパーテスト |
| 4 | 本課の本文内容を復習し、形式主語・形式目的語の it の用法を学習する。 | エ | 後日ペーパーテスト |
| 5 | 日本の伝統文化について調べ学習を行う。 | ア | 後日プレゼンテーション |
| 6 | 日本の伝統文化についてプレゼンテーションを行う。 | ア,イ,エ | プレゼンテーション |
| 後日 | <ペーパーテスト> 新出単語・イディオムの知識をみる問題 本文の理解度をみる問題 形式主語・形式目的語の it の用法に関する問題 | ウ ウ エ | 小テスト ペーパーテスト ペーパーテスト |

○は本時

10. 「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標（第2学年）

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|-------------------------|--|--------------------------------------|--|-------------------------------------|---|-------------------------|
| 学習到達目標 | 評価 | 学習到達目標 | 評価 | 学習到達目標 | 評価 | 学習到達目標 | 評価 |
| 日常生活での出来事について話したり、簡単な会話をするができる。 ○コミュニケーション英語IIの既習内容に関する質問を聞いて、答えることができる。 ○日常生活での興味や関心のあることについて、英語でやりとりができる。 | コミュ英II 英語表現I スピーチ | 与えられたテーマについて、ある程度文章を書くことができる。 ○既習内容の文法を使って、つながりのある文章を5文程度書くことができる。 ○日常生活について簡単な文を書くことができる。 | コミュ英II 英語表現I ライティングテスト 定期考査 | 日常生活での身近な内容に関する内容を理解することができる。 ○授業中の活動手順等、やや複雑な内容のものも、聞いて理解することができる。 ○日常生活での、身近な話題に関する話を理解することができる。 | コミュ英II 英語表現I リスニングテスト 定期考査 | 比較的易しい説明文を理解することができる。 ○ポスターやパンフレットに書かれている内容を読んで、理解することができる。 ○コミュニケーション英語IIの既習内容を、相対でわかるように音読することができる。 | コミュ英II 音読テスト 定期考査 |

1 1. 本時（第2時）の指導過程

- (1) 目標 Part2の語彙を定着させる。
形式主語・形式目的語のitを使えるようになる。

(2) 展開

| 時間 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 学習活動における 具体の評価規準 | 評価方法 |
|-----|--------------------------------|--|---------------------|-----------------------|
| 10分 | 英語で折り紙を折る。 | 英語を読解して作業ができるよう工夫をする。 | | |
| 1分 | 本文を聞く。 | 新出単語を確認せずに本文を理解する態度を育成する。 | | |
| 3分 | 本文内容に関する質問に答える。 | 生徒同士が協力して問題に取り組む雰囲気を作る。 | | |
| 3分 | 本文を読んで新出単語の意味を確認する。 | 辞書で調べて意味を暗記するのではなく、本文から意味を推測して考え、写真や絵を用いてイメージで覚えさせる。 | | 後日小テスト |
| 3分 | 語彙発音練習をする。 | 生徒の注意を引き、アクセントを意識させるためチャンツを取り入れる。 | | |
| 5分 | 新出熟語に下線を引き、発音練習をする。 | 単調にならないように、ペアで確認をさせる。 | | |
| 10分 | 教科書の音読、またフレーズリーディングを行う。 | 空欄補充や速読等、様々な手法を用いて音読をさせる。 | | |
| 5分 | 教科書の文法問題を解く。 | アウトプットの活動を念頭において it の用法を理解させる。 | | |
| 10分 | 本単元の文法内容である形式主語の it を使って日記を書く。 | 書いただけで終わらないように、ペアで発表をさせる。 | イ | 教員による評価(文量, 文法, 内容等)。 |

| | |
|-----------------------------|--|
| 「十分満足できる」と判断される状況 | ペアワークに積極的に参加し、相手と協力をして活動、問題に取り組んでいる。 |
| 「おおむね満足できる」状況を実現するための具体的な指導 | 机間巡視を徹底し、ペアでの活動を促進する。また、教師自身が楽しく英語の授業を行うことで、生徒の授業への関心意欲を向上させる。 |